

事後内部評価シート

調査研究課題名	交通分野における政策効果の分析システムに関する研究
担当者	総括主任研究官 山口勝弘、主任研究官 日原勝也、研究官 肥高俊明
当初目標と目標達成度	<p>国内航空分野を主な対象とした部分均衡モデルや空間的応用一般均衡分析（SCGE）モデルなど、計量的分析モデルに基づく政策効果の分析という目標は概ね達成できた。また、当初予定していた当該分析システムの省内 LAN での本格運用は、今後の継続課題とした。</p>
調査研究内容の妥当性	<p>近年実施された交通分野における規制緩和等の各種政策のうち、主に国内航空分野における政策について部分均衡分析や SCGE モデル等による分析を行ったことにより、利用者便益のほか関連産業への経済効果などを明示的に分析できた意義は大きい。</p>
調査研究の仕組みの妥当性	<p>部分均衡分析等について詳しい研究機関に外部委託するとともに、学識経験者によって構成された研究会並びにワーキンググループを設け、効率的かつ確かな調査研究を進めることができた。</p>
成果と活用（予定）	<p>近年実施された各種国内航空政策についての便益の帰着状況等を客観的・定量的に把握する分析システムを得ることができ、今後の政策立案にあたって有用なツールとして機能し得るポテンシャルを持つことが確認できた。今後は国際航空等その他の分野に関しても検討の余地がある。</p>
その他	<p>土木計画学研究発表会（2002 年春大会）にて発表。 第 1 回政策課題勉強会（2002 年 4 月開催）にて発表。 成果報告書の作成のほか、平成 13 年度国土交通白書に掲載。</p>